

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	社会福祉協議会補助金	担当者	民生課	福祉係
-------	------------	-----	-----	-----

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	2. だれもが健康で、心安らぐ村／福祉・健康・医療の充実／地域福祉			
関連する主な計画等	信州あち おたっしゅプラン21 阿智村老人福祉計画・第6期介護保険事業計画			
根拠法	社会福祉法			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付	<input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
事業の対象者	阿智村社会福祉協議会			
事業開始年	S.63	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定

②事務事業の計画(PLAN)、取組(DO)

実施目的	広く社会福祉団体関係者に支えられ公共性を持つ社会福祉協議会に、地域福祉事業費の一部を補助する。					
具体的取組	社会福祉事業の能率的運営と、地域福祉の増進を図るため、阿智村社会福祉協議会の運営及び事業に要する経費の一部を補助している。 補助対象事業：地域福祉事業(日常生活自立支援事業・地域福祉活動への支援ほか) 受託事業(配食サービス、ふれあいサロン事業ほか)					
実績・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉に関する各種の推進体制を支え、事業を推進することができる。 ・ボランティアグループの育成等により地域で支えあう組織づくりを支援することができる。 安心コール 206回/年 地域福祉・訪問 231人/年 ミニハンディキャブ貸出し事業 28回/年 日常生活自立支援事業 28回/年 緊急小口福祉資金貸付事業 5人/年 生活福祉資金貸付事業 2人/年					
歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	負担金	15,000				
事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額(千円)	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
	うち一般財源	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
	うち補助金	0	0	0	0	0
	うち個人負担	0	0	0	0	0
	従事職員(人)	1	1	1	1	1

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定
必要性	住民のニーズは高いか	a 今後更に地域福祉に対するニーズは質・量とも多くなる。	A
	手段、成果は妥当か	b 社会福祉協議会を支援することにより継続的な地域福祉活動を推進する。	
	対象者の設定は妥当か	a 障害者・高齢者が対象者であり設定は妥当である。	
	村の関与は妥当か	a 村が支援することで、住民が地域で助け合いながら住み続けられる村づくりの推進につながる。	
有効性	期待された効果が得られたか	地域に根ざした利用者本位の福祉サービスなど社会福祉協議会に期待するものは大きい。ふれあいサロンや地域福祉の組織づくり支援など効果が得られた。	A
効率性	コストの削減に努めたか	b 地域福祉推進のための補助金であり削減の余地はない。	B
	効率性を高める工夫はされたか	b 専門的知識を有する社会福祉協議会が事業を担うことで、効率的な事業推進が図られている。	
公平性	受益者負担は適切か	受益者負担を求め物ではない。	A
総合評価	B		

④改善(ACTION)

事業の方向性	継続・維持
課題	社会福祉協議会は村が主体となって設置した団体であり、今後も村が補助していく必要がある。地域福祉を推進するための支援を継続していく必要がある。
今後の取り組み	新総合事業などの取組みを行い、利用者を増やし収益率を上げていく努力が必要である。